

正しい判断ができる人に

東中学校 2年
澤田 茉奈

「仲間の価値」について考えたことはあるだろうか。私は、一人でゆっくり過ごすのが好きだ。好きな事を考えながらボーッとする事に幸せを感じる。友達なんて必要ないんじゃないかと思っていた時期もあったほどだ。

でもそれはほんの一瞬だった。よく考えてみれば、私は今まで、数えきれないほどたくさん友達に助けられてきた。例えば、私は何度か学校生活の中で陰口を言われたことがあった。同級生から陰で自分の事を悪く言われるのは、悲しくて怖かった。でも、その事を知った友達は「そんなの気にしない方がいいよ！私達もついてるから。」と言ってくれた。その言葉だけで心がすごく軽くなる。「私には仲間がいる。」と思えるだけで、少し怖いと感じてしまっていた学校も笑顔で通うことができる。仲間の力は偉大だと思う。

犯罪に手を出してしまう人は、辛い事があったり、嫌な想いをして自分をコントロールできなくなってしまった人も多いのではないだろうか。私は、そんな自分をコントロールできなくなって誤った判断をしてしまう前に仲間の持っている「偉大な力」を使うべきだと思う。そうやって人が仲間を頼り合い、支え合っていけば、犯罪も、一人で悩みを抱えて苦しむ人も少なくなるのではないかと考える。

しかし、一人で抱え込んでしまっている人は、まず、自分で自分にとっての「仲間」の存在を探すところから始まる。それどころか、それさえもする余裕がないかもしれない。だからこそ、周りの人たちから気付いてあげる事も必要だ。些細な変化を気にする事もとても大切な事だと思う。でもやっぱりそんな些細な変化は親しい人にしか気付けないだろう。家族、友達、恋人、そんな「仲間」の存在を改めて掛け替えのないものだと実感するのも良いと思う。

私は、犯罪や非行を犯してしまう人がいる理由について考えたときに、自分をコントロールできなくなってしまふ事の他に、何も考えずに起こした行動が犯罪、非行へと繋がってしまう場合も多くあると思った。特に最近では、SNSを使って、簡単に情報を発信する事ができる。便利ではあるが、その分トラブルの起こることも多い。

こんな事例がある。二〇一六年の四月、熊本で地震が発生し、その直後、とある人が熊本の街中を歩き回るライオンの写真と共に「おいふざけんな、地震のせいでうちの近くの動物園からライオン放たれたんだが」という文章をSNSに投稿した。その投稿は一気に拡散され、二万リツイートを超えた。この情報が原因で、熊本市内の動物園に問い合わせが殺到。しかし、調査によるとデマ情報だったことが判明し、熊本市動物園の職員を問い合わせに対応させるといった業務妨害の疑いで、デマ情報を流した当時二〇歳の男性が逮捕された。

この男性はきっと、先のことは何も考えず冗談半分で投稿したのだろう。しかしそれが、たくさんの人に誤解を招き、さらには警察も動く事件へと発展してしまった。この事例はSNSは、慎重に使わないと大きなトラブルに繋がるということを認識させられる。

だが、先のことを何も考えず行動して後悔する結果になってしまう事例は、SNSに限らない。

二〇一七年に実施された一般住民を対象とした全国調査によると、覚せい剤や大麻といった薬物を少なくとも一回以上使ったことがある国民は全国で約二百十六万人と推計されている。その中で依存症になってしまふ人数は約七十万人。約三分の一の確率で依存してしまう。薬物を使用したきっかけの多

くは、快感への追求、好奇心。

これは、薬物依存を甘くみているにすぎない。薬物は、依存して何度か使っていくうちに、精神状態が不安定になったり、中毒を起こし、最悪の場合、死亡するケースもある。

私は、学校の授業で薬物について知ってから、たくさんの薬物乱用者の手記を読んだ。

ほとんどの乱用者が「一回だけなら・・・」という気持ちで始め、その一瞬の気持ちが悪くなれる時間を自分では手離したくてもできない状態になり、最後には「後悔」という形で終わる。私はいろいろな乱用者の手記を読むたび、手記を書いた人をおかしいと思う気持ちと、絶対に私は今後も薬物に手を出さないでおこうと強く思える。

私はこの作文をきっかけに、これからも仲間と共に、誠実に生きていこうと誓う。また、どんな時も、冷静に正しい判断ができる人になりたい。